

農協だより

2022. 9月
No.615

たいき

小麦収穫風景
高松農場
(拓進農事組合)



女性部すずらん会
視察研修旅行
2ページ



年金友の会GB大会
4ページ

青年部

納涼ビアガーデンに出店！

J A 大樹町青年部（半田佑介部長）では、7月22日と23日の2日間において、道の駅コスモール大樹イベント広場で大樹町商工会が主催の「納涼ビアガーデン」に出店をした。今年で10年目となる出店となり、10名の部員が協力のもと「アイスサンデー」を販売した。

初日は肌寒く雨が降っており、来場者も少なく売れ行きはあまりよくなかったが、2



出店風景



餅まきのようす

日目は雨も上がり、来場者も増えたことにより売れ行きは上々であった。

餅まきのイベントでは、高松理事、金曾理事、藤内尾田支部長がコスモールの屋根上から餅をまき、集まった多くの来場者たちは飛んできた餅を楽しそうにキャッチしていた。

3年ぶりの開催となったビアガーデンでは部員も楽しく交流し来場者も笑顔が多くみられたイベントとなった。

女性部

すずらん会 日帰視察研修旅行

J A 女性部すずらん会（山下陽子会長）は、7月11日、視察研修旅行を3年ぶりに日帰りで実施した。会員9名、子供1名が参加し、視察先はガーデンフェスタ北海道2022が開催されている恵庭市へ向かった。

視察先のえこりん村「銀河庭園」ではローズウイークが協賛会場となっており、約5000株のバラが見頃を迎えていた。庭園はバラの香りに包まれ華やかで優雅な雰囲気

を味わうことができ、リフレッシュ出来た。また、銀河庭園の中を走るトレイラーに乗り15分ほど、えこりん村の説明を聞きながら草花や、アルパカ、牛模様の羊などを観賞した。

その後、三井アウトレットパーク札幌北広島へ移動。2



恵庭方面

時間の自由行動で各自食事を取り、買い物を楽しんだ。参加者は久しぶりに仲間との会話を楽しみ交流することができた。

感染防止対策としては、空間除菌がされているバスで間隔を空けての乗車、手指の消毒などを徹底した。

今後のすずらん会は、11月に「ミニバレー大会」を予定。





講座のようす

J A 女性部（姉崎美紀部長）は、7月19日農協2階の会議室を会場に生活健康講座を実施し、18名が参加した。講師に大樹町役場嶋田明氏を招き、「災害への備え―洪水編―」をスクリーンを使い1時間ほど講座した。災害発生時の警戒レベルが令



講師の嶋田明氏

女性部

生活健康講座開催

和3年5月に変更になり、災害発生の危険度と、住民がとるべき避難行動をわかりやすく5段階に設定されたことの説明を受けた。

警戒レベル4以上は必ず避難が必要だが、避難所まで移動することが危険であれば、避難所に限らず、知人宅や親戚などの家に避難する。また、外に出ることが危険な場合は、垂直避難（2階へ避難）でも良く、避難とは難を避けることであると説明を受けた。また、ペットも避難所へ連れて行くことが原則（同行避難）とされており、リードやケージも可能な限り携行するなどを学んだ。

参加者からは「減災※を家族で考えようと思いました。」と話しており、防災意識が向上し、充実した講座となった。また、女性部員が各行政区で避難所のお手伝いが出来るよう、定期的に講習などを行なっていく。

※減災とは：被災者の体験からいかに被害を減らすかの事前対策

例・家具を固定する

・高いところに物を置かないなど

大樹SS

サマーキャンペーン

J A 大樹町燃料課セルフスタンドでは、7月27日にサマーキャンペーンが行われた。

当日は、新型コロナウイルス感染症対策としてマスクを着用した職員による誘導やBOXティッシュの配布を実施した。

また、毎週水曜日に行っているガソリン・軽油特売キャンペーンも重なり多くの方に利用していただいた。

販売実績は、来客台数742台、販売量は18,427KL（ガソリン16,502KL、軽油1,925KL）となった。



多くの方々に利用していただきました

LINE
公式アカウント
会員募集中!
QRコードで友だち登録!!



年金友の会

第35回組合長杯争奪 ゲートボール大会開催!



丹羽さんによる選手宣誓



挨拶する川原会長

7月26日、第35回組合長杯争奪ゲートボール大会が健康増進と親睦を図るため、高齢者健康増進センター(室内ゲートボール場)で開催された。大会には、ベテランから初



坂井組合長の始球式

心者まで6チーム、36名が出場した。主催者を代表して川原和夫年金友の会会長から「総会後の初めての年金友の会の行事です。ゲートボールは個人プレーではありません。各チームが一丸となって、勝つても



試合のようす

良し負けても面白いゲームとなりますようにお願い申し上げます。依然として、コロナウイルスが蔓延しております。いつものように手洗い、手指消毒、1人以上間隔を空ける、昼食時間は黙々と食べる、食事が終わったらマスクをして会話をしましょう。今日一日楽しく頑張ってください。」と開会挨拶。坂井組合長より祝辞が述べられた。愛澤忠雄審判長より注意事項が述べられた後、選手を代表して、前年優勝チーム主将丹羽晃さんの選手宣誓により競技が開始され、各チーム熱戦を繰り広げた。

優勝 丹羽チーム

優勝の栄冠は昨年に引き続き丹羽チームに輝いた。成績は次の通り。

丹羽 晃
八巻 武
丹羽 登美子
中原 照子
山本 昭雄
吉本 静榮

準優勝 長谷川チーム

長谷川 徳男
西尾 照子
山川 和子
田中 登志子
菊地 タツイ
細田 耕一

第3位 愛澤チーム

愛澤 忠雄
萩原 敏夫
藤谷 正代
上田 邦雄
内藤 智江子
小林 浩



優勝 丹羽チーム



準優勝 長谷川チーム



第3位 愛澤チーム

SDGs推進プロジェクトが始動!

7月22日、JA大樹町大会議室において、株式会社ビジネスコンサルティングの佐藤和彦氏を講師に若手職員9名が参加のもとSDGs推進プロジェクトが行われた。

本プロジェクトでは、第10次地域農業振興計画・JA中期経営計画の中で計画されているSDGsの推進・実現に向けた若手職員のコンピテンシーの強化、人材育成を目的としている。

今回は第1回目となり、参加者には委嘱状が交付され、開催にあたって太田専務からは「これから若手の職員の皆さま方には、将来農協の運営に携わる重要な役割を担っていただきたいと思っております。時代の中で変わらなければならないことが多々あります。日々皆さんが仕事をしていく中で組合員や町民にとって便利になることなどがございましたらどんどん提案していただきたいと思います」と挨拶がされた。

その後、角屋参事の講話がありプロジェクトが佐藤氏により取り進められた。

本プロジェクトは全7回行われ、次回は8月19日を予定している。



真剣な若手職員たち

防犯講話

7月27日、JA大会議室にて66名の職員が参加のもと、農協事業広域推進大会とともに防犯講話が行われた。

広尾警察署生活安全係佐藤係長を講師に迎え、特殊詐欺やサイバーセキュリティに係る防犯対策、こういった流れで特殊詐欺が行われるのかなど実際の電話の録音音声を読み合わせやすく解説された。

特殊詐欺の対策としては、詐欺グループは証拠が残ることを極端に嫌うため、「録音しています」等のアナウンスが流れる電話に変える、家族間で合言葉を決めておくなどの手段が有効であると話していた。

今回の講話を受け、防犯意識の向上、犯罪の未然防止に向け職員一同業務に励んでいきたい。



講話のようす

あさがお日記

SDGsの取り組みの一環（グリーンカーテン）で6月3日に女性部エルダーミセスが植えた「朝顔」が信用共済部の窓側でぐんぐん伸びている。直射日光を遮り、エアコン使用を減らすことで、CO₂削減や節電対策を目指す。



グリーンカーテン作成中



綺麗に咲きました!

小麦の収穫が終了!

秋まき小麦の収穫が7月27日から始まり、8月1日に収穫を終えた。

今年は6月からの日照不足、多雨の影響もあり平年作を下回る収穫が予想される。



大樹だいこん撰果風景

「大樹だいこん」の出荷作業が昨年より13日遅い7月19日より始まった。

撰果場には、生産者から持ち込まれた大樹だいこんがコンテナから洗い場に流れ、葉とヒゲをカットしたあと、大勢の従業員によって撰果される。

撰果された大樹だいこんは10kgに箱詰めし、予冷され本州の市場に出荷されるほか、「浅漬大樹だいこん」の原料となる。

「浅漬大樹だいこん」の取りまとめは組合員を対象に年2回行われ、一般販売分はフクハラ、ダイイチ、マックスバリュートなどの店舗で購入することができる。

4年度の作付面積は2戸17haとなり、農産販売課の高橋担当は、「近年にない7月雨天の影響で収穫量・品質ともに状態が悪く、現在は出荷が安定せず取引先への対応に苦慮している。今シーズンは相場高値が見込めることから、今後の状態回復に期待したい。」と話している。



撰果作業のようす

広尾警察署よりお知らせ

秋の全国交通安全運動

知らせ合う 早めのライトと 反射材

秋の全国交通安全運動が9月21日から9月30日の期間で実施されます。

～交通事故防止のポイント～

○ドライバーの皆さんへ

- ・交差点での安全確認を徹底しましょう
- ・対向車や前車がない時は、ハイビームを活用しましょう
- ・運転前に同乗者のシートベルト、チャイルドシートの着用を確認しましょう

○歩行者の皆様へ

- ・道路を横断する前にしっかり左右を確認しましょう
- ・夜間に歩いて外出する際は、明るい色の服を着たり、持ち物に反射材を付けましょう

～9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」～

9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」です。運転者、歩行者ともに交通ルールやマナーを守り。交通事故死ゼロを目指しましょう。

【広尾警察署 2-0110】

十勝農業改良普及センター 十勝南部支所通信

※「農業」には酪農以外も含まれます。

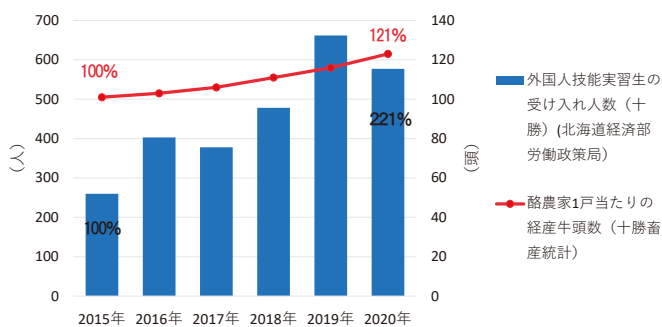


図1 十勝管内の農業に携わる外国人技能実習生の受け入れ人数および酪農家1戸当たりの経産牛頭数の推移

外国人技能実習生の受け入れ体制を整備し、農作業事故を予防しましょう

農場の規模拡大に伴い、外国人技能実習生（以下、実習生）の受け入れ人数が増加しています（図1）。実習生の多くは酪農に関する知識や経験がほとんど無く、言葉や文化が異なります。声かけの遅れや一瞬の不注意により農作業事故につながる可能性があります。日常作業に潜む事故のリスクについて理解を深め、予防に向けた対策を行いましょ。

酪農における事故率の高い作業は「搾乳作業」と「牛追い作業」で、とくに牛に「蹴られる」、「踏まれる」、「挟まれる」ことによる怪我が大部分を占めます。牛の行動は環境や状況によって変化するため、経験の浅い外国人技能実習生に伝えるのは難しいでしょう。農場に備えられた安全対策や事故を予防する技術を伝え、実習生の安全を確保しましょう。

1 つなぎ飼いの牛舎における搾乳作業について

（1）つなぎ飼いの牛舎では、「牛の乳頭を布きんで拭いていたところ、牛が急に足を上げてきたのでかわしたが、体制を崩し右手をついた。その右手に牛の足がのっかり右薬指を負傷した。」や「作業服（つなぎ）の股下を牛に踏まれ、両膝に負荷がかかり足を骨折した。」などの事故が発生しています。

（2）搾乳作業の基本姿勢についてポイントと目的を伝えましょう（写真1）。

- ①尻尾が目に入らないよう、つば付きの帽子をかぶる
- ②牛に踏まれても軽傷で済むよう、安全長靴を着用する
- ③驚いた牛に蹴られないよう、近づく前に合図する（声かけ）

- ④牛が安心するため体はなるべく近づける、搾乳中も触れ続けると良い
- ⑤牛が急に動いたとき逃げられるよう、膝を立てた姿勢で作業する



写真1 つなぎ牛舎における搾乳作業の基本姿勢

2 パーラー施設における搾乳作業について

（1）パーラー施設では「乳頭清拭の際に顔を近づけて作業し、牛に顔を蹴られた」、「牛追いの際、牛と牛・パイプと牛に挟まれて骨折した。」などの事故が発生しています。牛の行動について学ぶとともに、研修開始時は施設の特徴と安全装置の意味を伝えましょう。

【搾乳作業】

- ①バーより前に顔を出さない（腕を伸ばして作業する）（写真2）。
- ②牛を追う際は大声を出さない。
- ③牛が急に動く可能性を伝える。
- ④（待機場など）安全な場所と危険がある場所を説明する（写真3）。

マンパスの設置場所を伝える



写真3 待機場での逃げ道

事故のリスクは日常作業に潜んでおり、急いで作業をしている時、暑さで注意力が低下している時、作業メーバーが交代した時などの要因が重なり、事故発生につながります。日頃から余裕をもって作業することを心がけましょう。

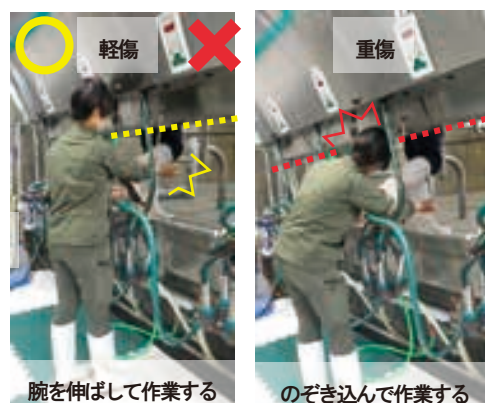


写真2 パーラー施設における搾乳作業の基本姿勢



終身年金で
安心!

知って得する 農業者年金

農業者の方は、国民年金の上乗せの
公的な年金「農業者年金」に加入して
安心で豊かな老後を!

ポイント

1

農業者なら誰でも入れる「**終身年金**」です!

ポイント

2

一定の要件を満たす方には、
月額最大**1万円**の保険料の国庫補助

ポイント

3

保険料は**全額社会保険料控除の対象**
など、生涯を通じて大きな節税効果!

詳しくは… 農業者年金基金

検索

<https://www.nounen.go.jp>





牛乳をもっと食卓に

おいしい ミルクレシピ

ヨーグルトで免疫力アップ

カボチャのニョッキ ヨーグルトソース

材料(2人分)

カボチャ	1/8個(250g)
薄力粉	100g
塩、こしょう	各少々
卵黄	1個分
ヨーグルトソース	
タマネギ	1/2個
ニンニク	1/2片
マッシュルーム	4個
ベーコン	40g
バター	10g
ヨーグルト	200g
塩、こしょう	各少々

作り方

- ニョッキの生地を作る。カボチャは種とワタを取り、ラップに包んで電子レンジで約6分加熱し、皮をむいて裏ごしをする。薄力粉、塩、こしょう、卵黄を加えて混ぜ、ひとまとめにしてラップに包んでおく。
- ヨーグルトソースを作る。タマネギ、ニンニク、マッシュルームは薄切りに、ベーコンは2cm幅に切る。バターを熱し、タマネギ、ニンニクを炒め、ベーコン、マッシュルームを加えてさらに炒める。ヨーグルトを加えたら、煮立つ直前で火を止め、塩、こしょうで味を調える。
- ①の生地を直径1.5cmくらいの棒状に延ばし、2cmの長さに切る。指やフォークなどで押さえてニョッキの形を作る。鍋に湯を沸かしニョッキを入れて、浮き上がってきたらゆで上がり。皿に盛り付けて、②のヨーグルトソースをかける。

レシピ提供 ● 一般社団法人 Jミルク「ミルクレシピ」

理事会の動き

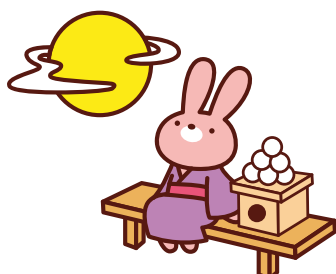
第6回 7/27

★報告事項

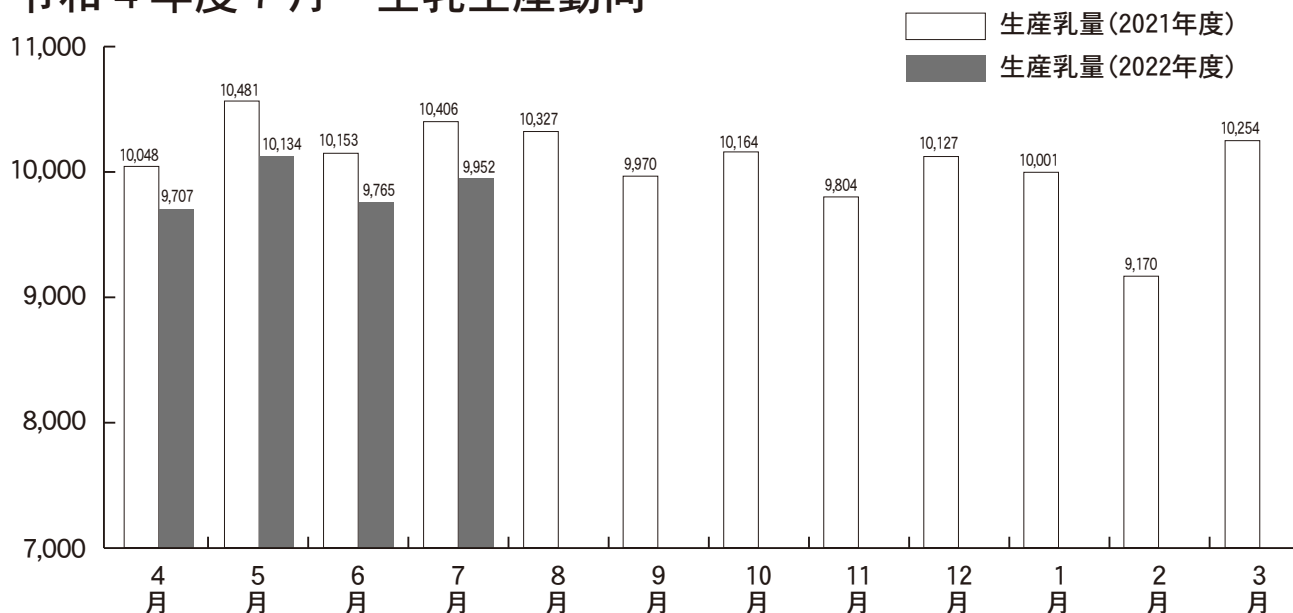
- 令和3年度国産チーズ奨励事業の実施結果について
- 令和4年度酪農経営災害緊急支援対策事業の実施について
- 十勝酪農畜産対策協議会第2回全体委員会の報告について
- 農作物生育状況定期調査結果について
- 令和4年度産作物作付面積調査結果について
- 要改善JA要綱・JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち全中および農林中金が定める事項の報告について
- C/S定期確認について
- 子会社の経営状況について
- 内部監査の結果について
- 第1四半期監事監査の結果について

★付議事項

- 第1号 令和4年度全道共計販売品の取扱いについて
協議・承認
- 第2号 理事に対する組合員勘定取引について
協議・承認
- 第3号 出資の減口について
協議・承認
- 第4号 事務リスク管理規定の一部改正について
協議・承認

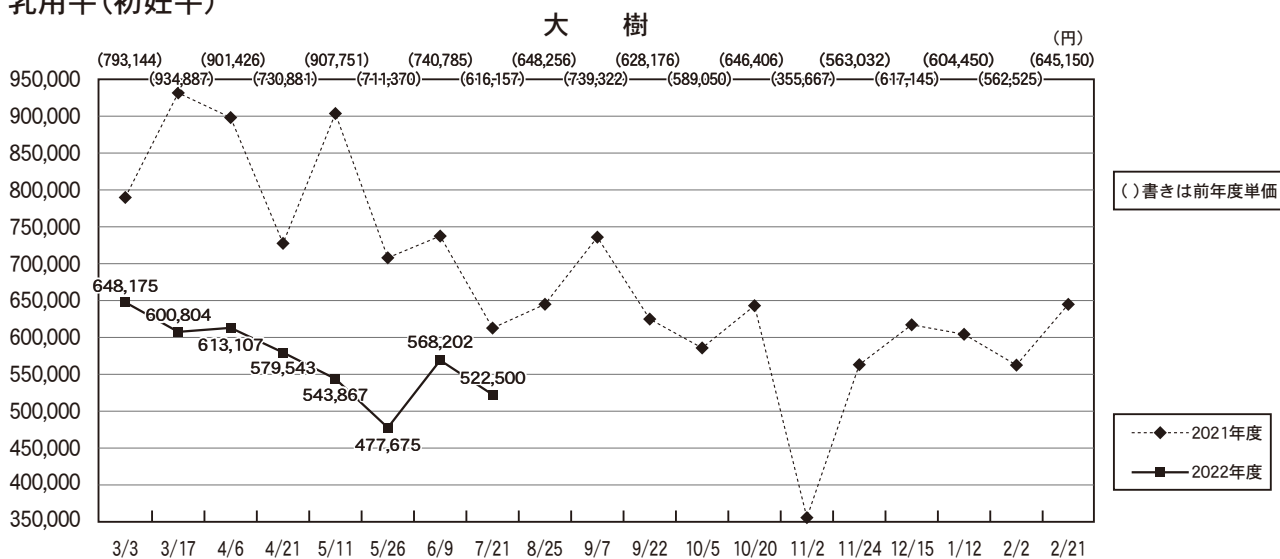


令和4年度7月 生乳生産動向

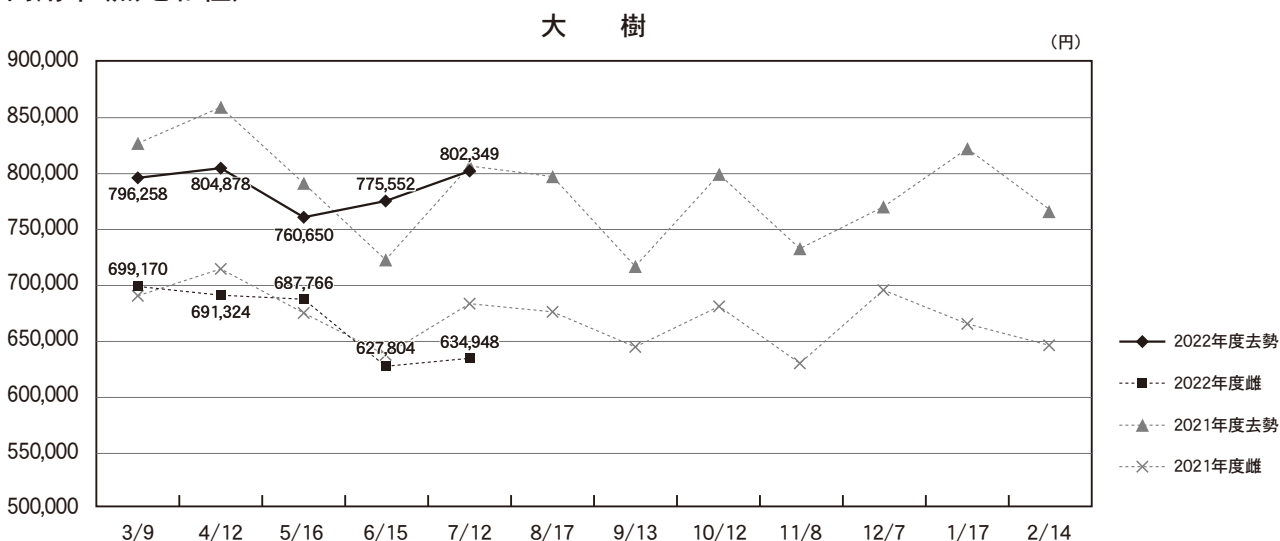


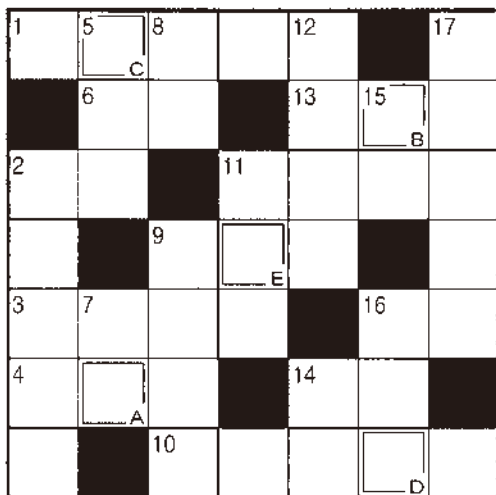
家畜市場の成績

乳用牛(初妊牛)



肉用牛(黒毛和種)





- ② 令和4年9月23日は——の日。国民の祝日です
- ⑤ 秋は稲や栗、ブドウなどいろいろな作物が——を迎える季節です
- ⑦ 竹や梅と並んでめでたい植物
- ⑧ 幸水や豊水が広く作られています
- ⑨ 『赤ずきん』ではおばあさんに化けました
- ⑪ 節約のために——簿を付け始めた
- ⑫ 楽団の前でタクトを振ります

頭の体操

クロスワードパズル

クロスワードパズル

タテのカギ

- ② 令和4年9月23日は——の日。国民の祝日です

- ⑤ 秋は稲や栗、ブドウなどいろいろな作物が——を迎える季節です

- ⑦ 竹や梅と並んでめでたい植物

- ⑧ 幸水や豊水が広く作られています

- ⑨ 『赤ずきん』ではおばあさんに化けました

- ⑪ 節約のために——簿を付け始めた

- ⑫ 楽団の前でタクトを振ります

- ⑭ お彼岸には掃除に行つて手を合わせる人が増えます
- ⑮ ピンチなんです！

- ⑯ 長く続けると足がしびれることも
- ⑰ ——コーヒー、——フットボール

ヨコのカギ

- ① 女郎花と書く秋の七草。同じ——科の植物にオトコエシというのもあります

- ② 頭隠して——隠さず

- ③ すいっちょんと鳴く虫

- ④ インフレのときに上がります

- ⑥ 贈答品に付きます

- ⑨ 風が吹くともうかるかも

- ⑩ フェルメールの代表作『真珠の——の少女』

- ⑪ 店の中に他の客はいません

- ⑬ 葉の——は徐々に表れた

- ⑭ 紙を燃やすと残ります

- ⑯ 10を3回掛け合わせると

正解者10名に大樹TMOカードが当たる

- 解き方 Ⅱ 普通のクロスワードの要領で全部を解いて下さい。次にA→Eの二重ワクの文字を順に並べると、一つの言葉ができます。それが答えです。

- 締切り Ⅱ 9月10日(当日消印まで有効)

- 届出 Ⅱ 本所企画管理課、生産資材課の専用投書箱へ。

- とじ込みハガキをお使い下さい。郵送する場合は63円切手をはって下さい。

- 賞品 Ⅱ 大樹TMOカード(正解者多数のときは、抽選で10名の方に)

- 職員とその家族の方はご遠慮下さい。

- 8月号の応募者は13名で、全員が正解されました。抽選の結果、次の方々が当選しました。当選した方には大樹TMOカードをお届けいたします。

8月号の答え

A B C D E
ア ワ オ ド リ
でした。



当選おめでとうございます

当選者

(豊里) 佐藤 アイ子さん
(豊里) 藤内 隆弘さん
(振別) 瀬川 勝子さん
(鏡町) 今村 佳子さん
(上大樹) 高橋 美知代さん
(下大樹) 三木 日向花さん
(崩和) 米谷 歩さん
(崩和) 戸田 繁樹さん
(崩和) 川原 和夫さん
(美成) 小島 唯さん

知りタイガーのJA虎の巻

知りタイガーのJA虎の巻

第29回
JA全国大会決議
JAグループの実践

【今回のテーマ】



「持続可能な地域・組織・事業基盤の確立」
に向けて、JAは具体的にどんなことに取り組
んでいくの？

組合員との対話運動（イメージ）

	主な対話内容	手法
正組合員	<ul style="list-style-type: none"> 自己改革の成果（特に販売事業・生産資材・購買事業の具体的な成果） 各種アンケートへの意見等をふまえた、評価向上に向けた対話 常組合員の位置づけ、意思反映・運営参画の取組に関する周知・理解促進 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問・対面（個別が基本） 役員による実施
准組合員	<ul style="list-style-type: none"> 意思反映・運営参画の枠組みや、意思がある場合の申し出先の周知 属性・ニーズ・関心をふまえた、事業の複合利用、活動参加への誘導 事業・経営等に関する情報発信の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問・対面（懇話会等含む）
すべての組合員	<ul style="list-style-type: none"> JA・農業への理解促進 意思反映・運営参画の枠組みや、意思がある場合の申し出先の周知 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問・対面のほか広報紙や資料配布 事業上の訪問機会を活用した訪問の実施

※コロナ禍では、広報紙、ホームページ、SNS等を通じて訪問・対面によらない情報発信・対話を実施

JAが力を入れる取り組みの1つが、組合員の拡大と「アクティブ・メンバーシップ」（積極的なJA運営等への参画）の確立です。

組合員構成の変化に伴うニーズの多様化やJAの広域合併・支店再編、コロナ禍などによる、組合員とのつながりの希薄化などの課題をふまえた対応が求められます。

そこでJAは、改めて「組合員との対話運動」により組合員の声をきめ細やかに把握し、それぞれのニーズ等に応じた効果的な取り組みを展開することで、組合員の意思反映・運営参画を促進します。また、新たな活動参加者や新規就農者との関係を深めるなど、組合員の拡大に取り組みます。



耕そう、大地と地域の未来。

イラスト・情報コーナー

イラストは濃くていねいに書いて下さい。
（あまり薄いと掲載出来ないことがあります。）



鏡 町
三獣一碎さん (21歳)



下大樹
三木日向花さん (6歳)



下大樹
佐々木弘子さん